

## 1. Course Description

柔道整復理論(総論、骨折)の国家試験に対応した臨床例の理解を深め、臨床現場で対応できる知識の修得を目的とした、国家試験の対応力を付ける対策授業を行います。

国家試験の過去問題や模擬試験などを実施し、問題の解説時にはグループディスカッションも行います。

この授業でDP2・3に関する知識を修得します。

本科目は、実務経験のある教員による授業です。担当教員は整形外科において業務に携わっており、授業では、整形外科での実例や実体験、課題などを題材とした講義、実習を行います。

## 2. Course Objectives

国家試験に合格する実力を身に付けることはもちろん、国家試験出題範囲の理解のみならず、臨床現場で対応できる知識の修得を到達目標とします。

## 3. Grading Policy

評価は、期末試験(100%)とします。また、試験範囲は柔道整復(理論)柔道整復(実技)からの全範囲とします。

## 4. Textbook and Reference

### Textbook

『柔道整復学・理論編 改訂第6版』南江堂

『柔道整復学・実技編 改訂第2版』南江堂

## 5. Requirements(Assignments)

①座席は教員が指定します。

②7.授業内容に沿って授業を進めますが、状況により調整を行う場合があります。

③期末試験は試験期間中に実施します。

## 6. Note

## 7. Schedule

- [1] オリエンテーション、国家試験の傾向について解説します。
- [2] 問題演習と要点の解説(第16回国家試験から)を行います。
- [3] 問題演習と要点の解説(第17回国家試験から)を行います。
- [4] 問題演習と要点の解説(第18回国家試験から)を行います。
- [5] 問題演習と要点の解説(第19回国家試験から)を行います。
- [6] 問題演習と要点の解説(第20回国家試験から)を行います。
- [7] 問題演習と要点の解説(第21回国家試験から)を行います。
- [8] 中間試験を行った後、試験の解説を行います。
- [9] 問題演習と要点の解説(第22回国家試験から)を行います。
- [10] 問題演習と要点の解説(第23回国家試験から)を行います。
- [11] 問題演習と要点の解説(第24回国家試験から)を行います。
- [12] 問題演習と要点の解説(第25回国家試験から)を行います。
- [13] 問題演習と要点の解説(第26回国家試験から)を行います。
- [14] 問題演習と要点の解説(第27回国家試験から)を行います。
- [15] 期末試験を行った後、試験の解説を行います。